

ヤマユガ科の飼育日誌・その7(2022年10月31日)

#ヒメヤマユの羽化

有峰森林文化村
撮影:伊勢指導員

有峰に分布するヤマユガ科の生態の一部を解明するため、令和4年(2022)5月22日から有峰ビジターセンターにおいて近隣のミズナラの葉を与え飼育を始めました。8月5日時点での蛹化数は、ヤマユガが9匹、ヒメヤマユガが18匹でした。9月20日時点での羽化数は、ヤマユガが7匹、ヒメヤマユガ0匹でした。10月24日に引き続き、10月31日新たにヒメヤマユガ♀と♂が羽化しました。蛹から出て、翅が進展するまでの♀個体の羽化の様子を観察したので報告します。

羽化の経過を示します。

令和4年10月31日

1. 14:34 蛹から成虫が抜け出る
2. 15:00 吹き流しの縁を羽化した成虫が登りはじめる
3. 15:10 羽化成虫が静止
4. 15:45 翅が進展し始める
5. 16:40 翅が進展し、翅を閉じたまま静止状態で安定
6. 18:20 翅を広げたり、閉じたりしはじめる
7. 19:10 翅を広げたまま静止状態に

成虫が出た蛹の脱殻の体長は28mmでした。蛹から抜け出し、羽化した成虫の翅が進展していく様子は

とても神聖で、神秘的でした。引き続きヒメヤマユガの羽化の観察を継続していきます。

【参考文献】

- 1) 亀山俊哉他:「ヤマユガ(天蚕)」の繁殖と利用に関する研究 ～第一報～、岩手県立盛岡高校
- 2) 岸田泰則著:日本産蛾類標準図鑑 I II /学研

種名	食樹植物	卵数	孵化数(6/21)	孵化率
ヤマユガ	ミズナラ	76	23	30.3%
ヒメヤマユガ	ミズナラ	85	79	92.9%
クスサン	—	91	0	0

種名	終齢幼虫数(7/20)	蛹化数(8/5)	羽化数(10/31)	羽化率
ヤマユガ	12	9	7	77.8%
ヒメヤマユガ	28	18	9	50.0%
クスサン	0	0	0	0



羽化中のヒメヤママユ♂

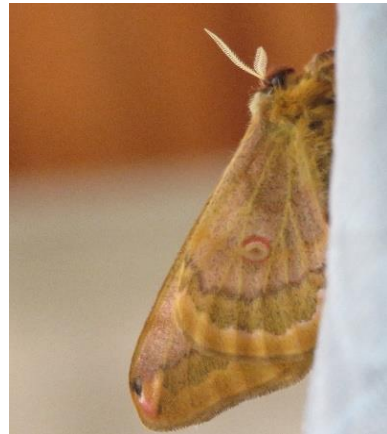


成虫が出た蛹の脱殻(10月31日撮影)



サナギから出てきた直後の
ヒメヤママユ♀個体

翅が進展し始めた
ヒメヤママユ♀個体



翅が進展したヒメヤママユ♀個体



翅が展開したヒメヤママユ♀個体